資料１

# 第１回　町田第三・山崎地区新たな学校づくり基本計画検討会　議事要旨

| | | |
|---|---|---|
| 開催日時 | | 2026年7月10日（金）　１４：３０～１５：５８ |
| 開催場所 | | 本町田ひなた小学校　ランチルーム（ウェブ会議併用） |
| 出席者<br>(敬称略) | 委員 | 小林委員、日髙委員、田代委員、吉松委員、小泉委員、佐藤委員、遠藤委員、川崎委員、浦﨑委員、上野委員、牧野委員、鈴木委員◎、治田委員（◎会長） |
| | 事務局 | 新たな学校づくり推進課、施設課 |
| 傍聴者 | | １名 |

**議事内容**（敬称略）

はじめに　学校教育部長挨拶及び委員委嘱

学校教育部長　　新たな学校づくり推進計画は、少子化や学校施設の老朽化に対応しながら、将来を見据えた、よりよい教育環境を整備するとともに、地域と学校の新たなつながりを生み出す取組みである。さらに、学校を児童・生徒の学びの場であるだけでなく、地域の拠点となる地域活用型学校としてつくっていくものである。

2021年５月に推進計画を策定して以降、昨年の４月には本町田ひなた小学校、成瀬小学校、今年の４月には鶴川中央小学校が開校した。この町田第三・山崎地区の新たな学校づくりは、中学校の統合計画として、薬師・金井地区中学校に次いで検討に着手する地区となり、2033年度の学校統合及び新校舎の使用開始を目指している。

この基本計画検討会は、両校の統合を進めるに当たり検討が必要な課題について、保護者の方、地域の方、教職員の方を交えて検討するために設置している。

今年度は、新たに整備する学校施設の検討を中心に行う。また、通学関係、新しい学校名の候補、学校ごとの歴史の継承などのほか、中学校ならではのテーマである標準服や部活動といった項目の検討を始めていく時期などについて議論し、2027年２月を目途に新たな学校づくり基本計画検討会報告書を策定するスケジュールとなっている。

教育委員会では保護者や地域の方と議論を重ねながら、この計画を進めていきたいと考えているため、皆様のご協力を重ねてお願いして、ご挨拶とさせていただく。

１　町三・山崎地区中学校新たな学校づくり基本計画検討会の設置について

新たな学校推進課　（資料１説明）

〔　委嘱書交付　〕

〔　会長・副会長選任　〕

２　基本計画検討会委員自己紹介

新たな学校推進課（資料２説明）

〔　各委員自己紹介　〕

３　新たな学校づくり推進計画及び通学に係る基本方針等について

新たな学校推進課　（資料３-１説明）

（資料３-２説明）

（資料３-３説明）

４　基本計画検討会の検討事項及びスケジュールについて

新たな学校推進課　（資料４説明）

５　町三・山崎地区新たな学校づくりアンケートの実施内容及び結果について

新たな学校推進課　（資料５説明）

６　町三・山崎地区中学校の新たな学校の概要及び施設整備について

新たな学校推進課　（資料６説明）

施設課　（挨拶、委託業者紹介）

委託業者　（資料６説明）

委員　現在、教室は生徒が清掃しているのか。今後、校内の清掃は生徒と専門業者でどのように区分けすることを検討しているか。

また、体育祭などをグラウンドで実施した場合、近隣から騒音に関する苦情はあったか。校舎の配置がコの字型であれば、意外と声が外に出ないのではないかと思う。

会長　三中の例をあげると、教室や廊下は基本的に生徒が掃除している。トイレ等は業者が掃除をしている。

施設課　学校行事の際などは、音の問題は少なからずご意見がある。騒音以外にも砂埃等で近隣の方々にご迷惑をかけている。コの字型で囲うことで騒音を出さないよう工夫ができるが、グラウンドの広さに制約が出てきてしまう懸念がある。今後協議して進めていきたい。砂埃については、防砂ネットなどで対策し、実際にどの程度影響を及ぼすか不明のため、設計を進めながら検討していきたい。

委員　現状の配置案では、体育館の中に室内プールを造るのか。

施設課　　プールの位置はまだ決まっていない。今後の設計を踏まえて検討していく。

委員　　町田市内にある様々な個性のある学校の校舎のメリット・デメリットを踏まえて検討できるといいと思う。

会長　　貴重なご意見感謝する。

委員　　北案の体育館だけ四角がくっついたようになっているが、何を想定しているのか。

委託業者　　現状の北案の想定では、ステージや防災倉庫を配置する想定で作図しているが、この案はあくまでもアイデアの段階である。

委員　　北案であれば、地形を有効活用して何かしら配置できるということか。

委託業者　　そのとおりである。敷地境界がちょうど広がっているため、そこを有効活用したいと考えている。

委員　　きぼうの森は残す想定でいるのか。

施設課　　基本的には校舎や必要な諸室、グラウンドに必要な面積を確保し、それでも不足する場合は、きぼうの森を一部削る可能性は視野に入れている。これらを満たしている状況であれば、わざわざ削る必要はないと考えており、今後検討いたしたい。

委員　　学校施設として見るべきポイントという評価項目について、優先順位はあるか。また、赤と黒の文字は重要度に差があるのか。

委託業者　　評価項目についてはどれも等しく重要であると考えている。また、字の色については赤字が特に重要なものと考えているが、その他のものを含めて最低限重要なものという認識である。

次回開催予定　第2回基本計画検討会

2026年9月28日（月曜日）14時30分　山崎中学校